

平成 2 5 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称	那須スイミングドーム・余笹川ふれあい公園
2	指定管理者 名称	環境整備株式会社 代表取締役 増田 武見
	住所	栃木県宇都宮市岩曾町1333
3	指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）
4	施設所管課	那須町教育委員会生涯学習課
5	履行状況（町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等）	指定管理者更新で引き続き環境整備（株）が選定され、新たに5年間の期間で管理運営を行うこととなった。締結した5年間の基本協定書に基づき、町と協議のうえ決定した平成25年度の事業計画に沿って事業運営及び施設管理等を実施した。管理運営全般において、事業計画どおりに履行された。
6	利用状況、運営状況	平成25年度のドーム利用者については、51,187人で前年度より874人の増となった。内訳は町内利用者が26,684人(52.13%)、町外利用者が24,503人(47.87%)であり若干町内利用者が多い状況である。全体的には、ホームページやタウン誌での周知また、近隣企業へのPR等を行い今年度も目標である5万人以上の利用者を達成することが出来た。 運営面では、25年度から条件付きでオムツの取れてない子供の入場また、浮き輪のレンタル利用を可能とするなど新たな取り組みを行った。また、子どもから大人までを対象とした水泳教室や長期休業中を利用した短期子供水泳教室を引き続き実施し利用者の拡大を図っている。余笹川ふれあい公園については除染工事により5月～12月まで利用禁止とした。
7	町民（利用者）からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価	全体的には館内に設置している意見箱に寄せられた声にも事業に対する苦情等は少なく、リピーターも増えており利用者の満足度は高いと思われる。ただし、平成25年6月に利用者への対応で一部不適切な点があり苦情が寄せられたが、毎月の社員研修を強化するなどして改善が図られている。 その他の管理運営・施設整備面では改善要望が数件あったが、早急かつ適切に対応した。
8	指定管理者の経理状況の評価	平成25年度の収支については、収入総額は72,027千円（内委託料43,785千円 売上金28,242千円）に対し、支出総額は78,060千円で、6,033千円の大幅な損失となっている。主な要因として、原油高騰の影響で灯油単価が上昇し計画に対し約3,761千円の損失、また人件費等の増加によるものが主な原因である。原油の高騰については今後も継続すると思われるので協議が必要である。損失のもう一つの要因としては、売上金が前年より880千円増えているものの指定管理委託料が前年比で2,555千円の減としている影響もあると思われる。なお、25年度において環境整備（株）の経費（指定管理料の枠外）によりドーム内の照明をLEDに交換し電気料の削減に努力している。
9	総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など）	指定管理者更新選定で初年度となったが、以前同様、町と月次定例会を実施しており、事業報告はもとより問題点や利用者からの要望・改善事項等について話し合いを行い、速やかに対処するよう務めている。年度途中で責任者の交換等もあり指揮系統に不安もあったが現在では良好な運営を行っている。施設管理の面では、施設の老朽化に伴う修繕等を町との協定に基づき積極的に実施しているが、平成8年開設以来19年が経過し年々修繕が増加しているため、大規模な改修を今後検討する必要がある。
10	評価ランク	: B
	A : 非常に良好な施設の運営状況であった	D : やや課題のある施設の運営状況であった
	B : 良好な施設の運営状況であった	E : 課題のある施設の運営状況であった
	C : 普通の施設の運営状況であった	

平成 25 年 度 評 価 シ ー ト

1	施設の名称 那須町立図書館
2	指定管理者 名称 株式会社図書館流通センター 代表取締役 渡辺 太郎 住所 東京都文京区大塚三丁目4番7号
3	指定期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年間)
4	施設所管課 那須町教育委員会 生涯学習課
5	履行状況(町との連携・職員の配置・情報管理・安全管理・施設管理等) ・協定書、仕様書等にそって、業務は概ね予定どおり履行されている。
6	利用状況、運営状況 ・平成25年度の開館日数は296日(前年比11日減)、入館者数は61,939人(前年比667人減)、貸出者数は18,305人(前年比519人減)である。減少の理由としては、11月～12月の耐震工事と2月の大雪による休館があったことによると思われる。しかし、1日当たりの平均にすると、前年度に比べ、入館者数は203.9人から209.3人、貸出人数は61.3人から61.8人、貸出冊数は383.9冊から387.1冊と増えている。 ・図書館では新規事業を、5事業増やした。特にダンボールクラフト教室など、物を作成する事業は参加者が多くとても好評であり、利用者の関心が高まっている。
7	町民(利用者)からの意見・要望やアンケートの満足度調査への状況評価 ・図書館にはエレベーターがなく、利用者から設置してほしいと要望があり、検討を要する。 ・図書館の利用のマナーについての声も多く、POPや小冊子で喚起していたり、利用者の要望に合わせ本の配置を変えたり、利用者の声にも柔軟に対応をしている。また、アンケートでは、特にスタッフの親切度や丁寧度、あいさつに関して利用者から高い評価を得ている。 ・「図書の充実」を求める声が多いため、ニーズに合った購入を考慮しなければならない。
8	指定管理者の経理状況の評価 ・収入及び支出については、適正に処理されている。 ・図書購入費は、仕様書に明記されているとおり年間500万円が支出されている。
9	総括的な評価(課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況など) ・町と指定管理者は、毎月定期的に報告・検討会を開催し、情報交換するとともに問題点の改善を図っており、良好な関係にある。
10	評価ランク : B A : 非常に良好な施設の運営状況であった D : やや課題のある施設の運営状況であった B : 良好な施設の運営状況であった E : 課題のある施設の運営状況であった C : 普通の施設の運営状況であった